



令和7年11月21日(金) 第17号

北九州市立特別支援学校

北九州中央高等学園

文責 校長 谷 義久

# 後期産業現場等における実習 ～終了しました～

今週になり、気温が下がり冬の訪れを感じる気候になり、体調不良を訴える生徒もいましたが、後期産業現場等における実習が終了しました。1年生にとっては、初めての实習で緊張したと思います。多くの学びがあったのではないのでしょうか。現場での実習は終わりました。来週から学校では振り返りを行います。振り返りでは、次の点を意識して行ってみてはどうでしょうか。

○実習を通して、どんな知識や技術が身についたか。または、必要だと感じた知識や技術はなかったか。仕事をする上で、どのような知識や技術が必要だと感じたかを振り返ってみましょう。

○働くうえで、自分で気づいたこと、考えたこと、実行したことはあったでしょうか。「自分で考え」「自分で判断し」「自分で行動する」いつも学校で行おうとしていることが実習先でできたでしょうか。

○自分がしてみたい仕事、「好き」と思える職種に出会えたでしょうか。今回の実習が「好き」であったとしたら、さらに学びを深めましょう。今回残念ながら自分が思っていたこととちがうな、ちょっと合わないなと感じたなら「好き」を探しましょう。

ほかにも振り返る視点はあると思います。実習前にたてた目標と照らし合わせながら、成果と課題を明らかにしていきましょう。

後期実習の振り返りが今後の学校生活の学びと次の実習へとつながっていきます。

## 実習先を訪問して感じたこと、考えたこと

今回の実習期間中に、学年の先生、進路の先生と一緒に

実習先を訪問させていただきました。

緊張の中、真剣に仕事に取り組んでいる生徒の皆さんの姿に感心しました。そして、皆さんが実習先で行った仕事は、すべて人と人をつないでいることを強く感じました。

・食品製造の職場で、コンテナの部材を一つ一つ丁寧に洗浄する仕事をしている現場がありました。洗浄が不十分だと有害な菌が増殖し食品に付着し、食中毒を起こす可能性があるのととても大切な仕事だと実習先の方がお話をされていました。工場で作られた食品は、最終的にはそれを食べる消費者へ届きます。

洗浄は、安全でおいしい食品を安心して食べていただく大切な仕事です。食品を口にする消費者とつながっていると感じました。

・物流倉庫でかご台車に発送先ごとに荷物の仕分けをする職場を訪問しました。一つ一つの荷物には、預けた人の思いとその荷物を持っている人がいるのだと思うと、荷物を送る人と荷物を待つ人をつなぐ仕事だと感じました。

ほかの職場も、そうした目で見ると、すべて人と人のつながりが見えてきました。自分が任された仕事はどんな形で人と人をつなげているのかも振り返ってみてください。仕事をする皆さんも誰かとつながります。どんな人とつながるのでしょうか。皆さんは実習を通して社会の中で人と人をつなぐ、大切な役割を果たしたのではないのでしょうか。

## 後期産業現場等における実習報告会

12月10日(水) 12:30～14:15 於：北九州中央高等学園体育館  
実習報告会を12月10日(水)に実施します。1,2年生が今回の実習を通しての成果と課題を報告します。生徒たちの学びの成果をぜひ、知っていただき励ましていただければと思います。また、様々な実習先を知る機会ともなります。ご多用の時期とは存じますが、参加をお願いいたします。先日、tetoruでお知らせしましたが、実習報告会のご案内プリントが配布時に不備があり実習前にご家庭に届いていない学級があることがわかりました。大変申し訳ありませんでした。お詫び申し上げます。出欠の回答は12月5日(火)に延期させていただきますので、よろしくお願い致します。

今後、再発防止に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 沢見あやめのもり保育所とのいもほり

11月18日(火)に沢見あやめのもり保育所の年長さんを招いて、いもほりを行いました。気温が下がり寒い中でしたが、保育所の園児と農耕班の生徒と一緒にサツマイモをほりました。大きなサツマイモがたくさん収穫できました。園児の皆さんも掘り上げたイモを大事に持って帰っていました。

移転に伴って戸畑校舎の畑は12月いっぱい閉鎖して、先輩たちが大切に使ってきた畑の土は、新校舎の畑にもっていくことになっています。



